

第1期 国分寺市公民館運営審議会 平成28年度第19回定例会 要点記録

日時 平成29年3月21日(火) 午前10時～正午

場所 国分寺市立本多公民館 講座室

出席者

委員 佐藤委員長・田中(英)副委員長・長谷部委員・萩原委員・戸澤委員・大澤委員・田中(雅)委員(欠席委員4人)

職員 山崎公民館課長兼本多公民館長・秋元恋ヶ窪公民館長・加藤光公民館長・豊泉もとまち公民館長・本望並木公民館長・齋藤本多公民館事業係長・木場主任

1 連絡事項

(1) 配布資料確認

(2) 第17回・第18回定例会要点記録⇒修正がある場合は、3月末までに連絡をいただきたい。

2 報告事項

(1) 平成29年国分寺市教育委員会第2回教育委員会定例会について

事務局：第2回定例会においては、議案として国分寺市立学校の学校医等の委嘱について、報告事項として第2回総合教育会議、第十小学校増築棟、第七・第十小学校給食調理業務委託検証委員会、光図書館一部業務委託受託事業者決定等についての報告があった。公民館についてはなし。

(2) 国分寺市ビジョン実行計画(案)について

事務局：資料2に基づき説明。

(3) 平成29年度国分寺市議会第1回定例会について

事務局：文教子ども委員会で、公民館使用条例の一部改正について審議し議決した。これに伴い、3月24日の教育委員会に施行規則の策定についてお諮りする予定である。予算特別委員会では、公民館運営審議会に現在諮問しているのかという質問があり、答申作成中であることを説明した。また公民館の50年史がホームページに掲載されていないといわれたが、今年度中に掲載するため現在作業中であることを説明した。スタッフ制度の報酬の基準について質問があり、1日の報酬、半日の報酬等について説明をした。

(4) 公共施設予約システムについて

事務局：資料3に基づき説明。

委員：窓口で職員が対応していた部分の仕事が、この予約システムが導入されることによって軽減できるのか。

事務局：電話での予約受付の部分は減るが、紙による申請は変わらない。

委員：抽選予約が始まるまで1年間の猶予はあるが、パソコンを使えないグループはどうするのか。

事務局：各館の窓口利用者用端末を設置し、予約をしていただくことになる。

委員：会場予約受付の場で話し合いをしていた部分はどうなるのか。

事務局：まだしばらくは会場予約受付を継続し、話し合いを行うことになる。抽選予約になった時、その部分をどのようにするか、運営サポート会議や利用者懇談会で話し合っていきたい。

委員：調理実習室など特殊な部屋について、時間帯をお昼を挟んで使用できるようにするなど想定したか。どう工夫していくのか。

事務局：個別の対応については、予約システムでなく、職員が手作業で対応していく。各館の施設ごとに考えていかざるを得ない。

委員：公民館は様々な場で話し合いをしてきたので、それをなくしてしまうことはよくない。

事務局：抽選予約に移行しても、団体同士が調整できるように何らかの工夫をしていきたい。

委員：他市でも抽選予約を始めているので、情報を収集し有効に利用できるようにしていくといい。時間区分などが今までどおりでいいのかなど、使いやすい方法を考えてほしい。

事務局：シェアの場合、予約システムで予約した団体以外がその時間を使用することになる。防犯などの観点からも考えていかなければならない。

委員：シェアは残るのか。

事務局：職員の手作業にはなるが、シェアは残していきたいと考えている。調整の仕方などを運営サポート会議などで話し合っていきたい。

委員：抽選の場合、何回も続けてはずれる可能性もあり、現在公民館で活動している団体から不満が出ることもある。埼玉県では、日頃使用している団体は優先で予約ができるように工夫している。

事務局：優先枠を設ける場合は、条例や規則で規定していかなければならない。今後様々な方法を検討していきたい。

委員：目的をもって公民館を使用している団体には、優先予約ができるようにしてもらいたい。

事務局：まずは6月から予約システムを稼働し、1年かけて考えていきたい。

3 協議事項

(1) 答申について

事務局：資料1に基づき説明。

委員長：全体を通してご意見いただきたい。

委員：全体を並べてみると、タイトルの付け方やまとめ方にばらつきがある。

委員：文章のテーマのところ、下線で取り出しているところ、行を開けているところ、太字になっているところなどがあり、統一感がない。

委員：経過などは資料編にまとめたほうがすっきりするのではないか。

委員：編集方針を統一して、リライトを再度していくのか。

委員長：各グループにリライトをしていただくことになる。リライトの方法について説明をしていただきたい。

事務局：リライトの仕方について説明。

余白は25mm，フォントはMS明朝，フォントサイズは13ポイント，1ページ34字35行で揃えること。年号の記入は「年号（西暦）年」揃える。

「である」調に統一する。ワーキンググループのサブテーマには，課題をつけない。下線は取る。講座名についている鍵かっこは取る。

委員長：運営サポート会議については構成がバラバラなので，並木公民館の構成の仕方に揃え，タイトルは「〇〇公民館運営サポート会議からの提言」とする。

委員：章立ても「設置経過と施設の特徴」「特色ある事業」「今後の課題」というように統一したほうがいい。

委員長：4月10日までに，もう一度リライトして事務局まで提出する。5月には答申できるようにする。

4 その他

（1）平成29年度公民館運営審議会日程について

委員長：今回の答申をリライトし，もう一度話し合いをしたい。平成29年度は，4月18日と5月16日の2回開催することとする。

（2）平成29年度東京都公民館連絡協議会定期総会について

事務局：資料5に基づき説明。

委員長：公民館運営審議会として委員部会分2名は，田中副委員長，長谷部委員とする。

事務局：その他，館長部会として山崎館長，職員部会として櫻井主任が出席し，国分寺市は4人になる。

委員長：次回は4月18日（火）午後2時から4時，講座室にて開催する。以上で本日は終了する。